



なかね 大



一人のために、未来のために！
子どもの命と笑顔を守ります！

令和4年第3回定例会

本会議・代表質問から

令和4年9月8日～10月6日まで開かれた令和4年第3回定例会での公明党議員団の一般・代表質問と、その間に開かれた令和3年度決算特別委員会での質疑の要旨をご紹介します。

今後の保育施策について

多様化する保育ニーズに応じた施策が必要！

働き方が多様化し、仕事と出産・子育ての両立を希望する女性や、就労以外の方法で社会参加する女性が増える中、多様化する保育ニーズに応えていく必要があると考えます。区として今後の保育政策についてどのように取り組んでいけるのか見解を伺います。

A 今後も、保護者の意見に耳を傾け、保育ニーズを的確に捉えた区ならではのきめ細かな保育サービスの充実を図ってまいります。

障がい児の居場所づくりについて

障がい児を持つ家庭の仕事と子育ての両立支援を！

障がいのある子どもたちの放課後の居場所の拡充を求める声が挙げられています。区として障がい児の居場所づくりについて今後どのように取り組まれるのか見解を伺います。

A 区は、障がい児の放課後等の居場所を確保し、家族の就労を支援するため、障害児の日中の居場所提供事業を、本年10月から開始いたします。今後も、利用者のニーズや事業者の状況を把握して事業の拡大に取り組み、障がい児が安心して過ごせる居場所を提供することで、家族の就労を支援してまいります。



新型コロナ後遺症の周知啓発について

コロナ後遺症についての周知啓発をさらに積極的に行っていくべき

症状が軽症で療養を終えた後に後遺症で悩む方が多くなっており、中には時間が経った後遺症の症状を訴える方も出てきています。区としても長引くコロナ禍にあって、コロナ後遺症についての周知啓発をさらに積極的に行っていくべきと考えますが見解を伺います。

A 区では後遺症が長引く場合があることも例にし、ワクチン接種の勧奨についてSNS等で周知啓発しております。区は、引き続き、港区医師会や地域の医療機関と協力し、後遺症に関する適切な支援を積極的に行ってまいります。

新型コロナ後遺症でみられる症状



産前産後ケア事業の充実について

産後の睡眠障害からお母さんを守れ！

産前に睡眠に関する知識や、産後に専門的なアドバイスを受けられる窓口、また相談ダイヤルなどの設置等の対応が求められています。産前産後の睡眠障害の可能性を踏まえたケアを積極的に進めていただきたい

A 精神的な不調や育児疲れで睡眠に悩む方が、早い段階で適切な支援を受けられるよう、専門職への研修などにより相談体制の充実に取り組んでまいります。

令和3年度決算特別委員会

◆共同住宅の震災対策の強化

マンション防災アドバイザー派遣のより積極的な活用を

◆みなと母子手帳アプリの機能充実

国での母子健康手帳の見直しにあたり、みなと母子手帳アプリの機能充実を図るべき

◆スポーツセンターのトランポリン

平成30年に老朽化のため廃棄された1台分を増設すべき

◆みなと認知症サポート店認定制度

みなと認知症サポート店認定制度の普及啓発への取り組み強化を

◆かかりつけ機能推進事業

かかりつけ医を誤解なく認識するためにも丁寧な周知啓発を

◆区職員の健康維持・増進の取組

区職員の健康維持・増進のために健康経営を用いたメンタルヘルスケアの強化を

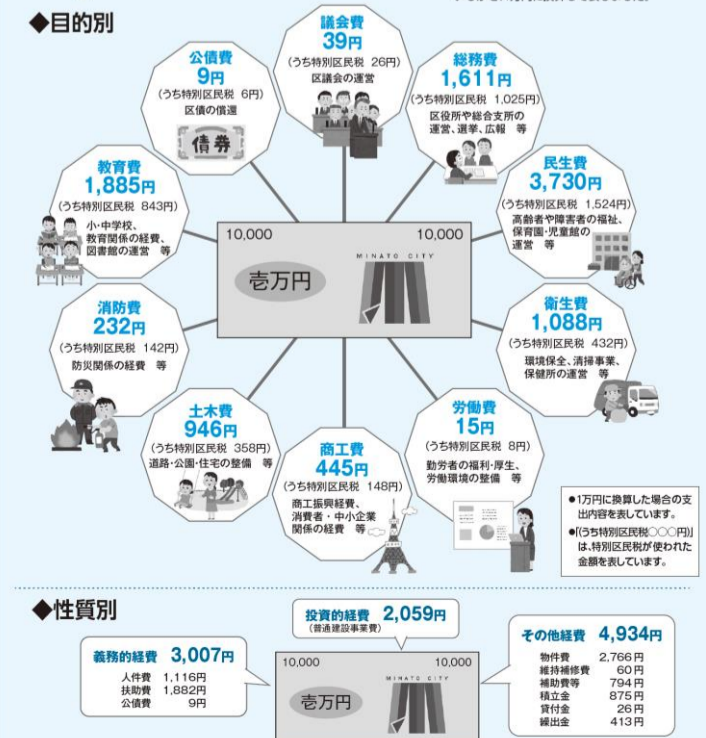
◆地域で共に生きる障害児・者アート展

障害児・者に対する理解増進を図るため、周知啓発の促進と取組の充実を

令和3年度決算「港区財政レポート」から、港区の予算を1万円に換算しどれくらい経費として使われているかを表してみました。

10,000円の使いみち

区の財政を身近に感じていただくため、令和3年度の歳出がどの経費にどれくらい使われているかを、1万円に換算して表しました。



高3までの子ども1人に5万円を支給！「港区子育て応援商品券」

所得に関わらず、0歳から高校3年生までの子どもがいる全ての子育て家庭に対し、子ども1人あたり5万円の電子商品券を配布します。

【2023年3月支給。有効期間令和5年3月～8月までの港区内共通商品券(電子商品券を使用)】

コロナ禍の中、物価高の影響を受ける子育て家庭の支援のため、公明党は国に対し「地方創生臨時交付金」の活用例を挙げて、重点項目として実施を求めました。

これに基づき、区議団では財源を示しながら、本年5月25日港区長に重点要望を行い、結果「港区子育て応援商品券」として実現しました。これからも子育て家庭と、子どもの健やかな成長を応援します！



エレベーター閉じ込め対応訓練が実現！

東京都は20年ぶりに首都直下地震の被害想定を見直した結果、エレベーター閉じ込めは20年前の前の想定より約82%増え、港区でも1,357台に発生するとのことで、令和4年6月議会でエレベーター閉じ込め対応訓練の必要性を訴え、補助金を支給する等して訓練を促す仕組みづくりについて質問しました。

その結果、今年度の補正予算に共同住宅10カ所分の予算が確保され、エレベーター保守事業者の指導のもと、普段利用しているエレベーターで閉じ込められた場合を想定した訓練を実施できることになりました。



ブロック塀等の除却・設置工事費用の助成額と対象基準が拡大！

平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震で、ブロック塀が倒壊し幼い命が犠牲となった事故を受け、直ちに港区長に対してブロック塀やフェンスの総点検を実施するよう緊急申し入れを行うとともに、平成31年予算特別委員会より機会あるごとに「ブロック塀等除却・設置工事支援事業」の対象となる塀の高さ基準の見直しを訴え続けてまいりました。

その結果、11月1日より、アドバイザー制度により危険性が高いと判断された場合、対象となる塀の高さ基準を撤廃し、助成額も拡大しました！



オミクロン株対応ワクチンの年内接種を促進

2022年9月27日の決算委員会にて、年末の新型コロナの感染再拡大を見据えて、オミクロン株対応ワクチンの希望者全員への年内接種を訴えました。

その結果、同月30日より、オミクロン株対応ワクチンの「予約なし・接種券なし」接種が、当初スケジュールを前倒して開始されました。



産前産後家事・育児支援サービス事業が拡充

近年の核家族化による産後の不安や孤立感で鬱状態の中での育児、また、晩婚化や若年妊娠等による低出生体重児へのケアなどから母子保健法の一部が改正され、産後ケアの対象を産後4か月から1年以内へ拡充されることを受け、港区の産前産後家事・育児支援サービス事業の拡充をすべきと質問(令和2年11月代表質問)。

その結果、妊娠中から出産後120日以内まで96時間であった事業が、妊娠中から子が3歳になる日の前日まで224時間(1歳未満まで128時間、1歳・2歳で各48時間)に拡充されました！



地域の声を実現しました！

◆高輪4丁目ガードパイプ設置

ガードパイプが見えづらいため、車が曲がるときに巻き込んで危ない！
どうにかして欲しいとご要望をいただきました。担当課に相談したところ、ガードパイプ増設するとともに、反射テープが施され、夜間でも認識しやすくなりました。



◆芝3丁目パン屋さんの雨水対策

新しくパン屋をオープンされたオーナーさんから、雨が降った後、軒下の雨水が排水されず不衛生なのでどうにかして欲しいとの要望。
早速担当課に相談したところ、不要なステップコーナーを取り外し、L字溝と雨水枡を新設してもらいました。

